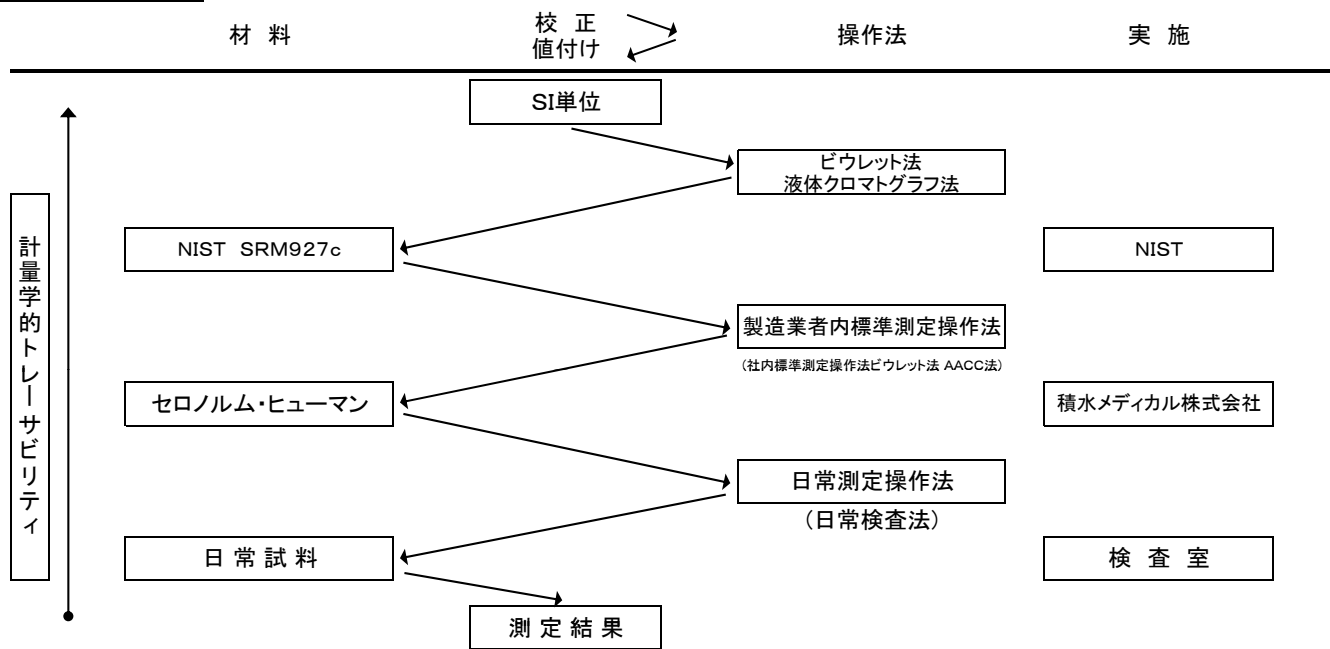


# 総蛋白 (TP)

2008年7月作成



## 測定のトレーサビリティと不確かさ

メーカー名	積水メディカル株式会社
項目名	総蛋白 (TP)
試薬名	オートセラ TP、クリニメイト TP、クオリジェント TP
機器名	日立自動分析装置 7170
届出番号	13A2X00197218035、13A2X00197218034、13A2X00197218100
製造業者製品 校正物質 (製品キャリブレーター)	セロノルム・ヒューマン
精度管理物質 (製品コントロール)	

	標準物質	測定方法	安定性	拡張不確かさ
一次基準測定操作法		Buret法 液体クロマトグラフ法		
一次校正物質	NIST SRM927c			$\pm 2^* \times 0.517\%$
二次基準測定操作法				
二次校正物質				
製造業者社内 標準測定操作法				
製造業者社内 標準物質				
製造業者常用 測定操作法		社内標準測定操作法 Buret法 AACCC法		
製造業者製品 校正物質 (製品キャリブレーター)	セロノルム・ヒューマン		2~10℃ 製造後4年間	表示値 (OK2431) 6.73 g/dLの $\pm 2^* \times 0.0375$ g/dL (相対比 1.11 %)
精度管理物質 (製品コントロール)				

\* : 拡張不確かさに関する包含係数は  $k=2$  を使用しております。

不確かさの表示値は+1桁で表記しています。

分散分析による拡張不確かさ(95%信頼区間/ $k=2$ )の相対比%より算出しています。